


Ursula and Fritz Melchers Travel Award を受賞して

氏名	渡邊 美幸	
所属	大阪大学 微生物病研究所 分子免疫制御分野	
発表論文 タイトル	FcR γ -coupled receptor members induce different cytokines by altering the kinetics of FcR γ signaling	

この度は Ursula and Fritz Melchers Travel Award に選出していただき大変光栄に存じます。Melchers 博士御夫妻、ならびに選考委員の先生方に心より御礼申し上げます。

私は C 型レクチン受容体 (CLR) のシグナル伝達について約5年間一貫して研究を行ってきました。活性型 CLR の多くは、共通の FcR γ 鎖からシグナルを伝達するにもかかわらず、受容体ごとに異なる応答を誘導します。私は Dectin-2 特異的な IL-2 産生からこの現象の解明にアプローチしております。

Dectin-2 は IL-2 産生を誘導できるのに対し Mincle は誘導できないことから、両者の発現様式の違いに着目し、Dectin-2 のように恒常的に発現させた Mincle では IL-2 産生を誘導できることを見出しました。発現様式から推測される FcR γ シグナルを再現した系にても、Dectin-2-like なシグナルで IL-2 産生が高い結果が得られ、IL-2 産生には受容体の恒常的な発現によって伝達される刺激初期の FcR γ シグナルが重要であることが示唆されました。両受容体間では遺伝子発現のパターンも経時的に異なっており、現在はそのデータをもとに IL-2 産生を決定づける転写因子の同定を試みています。

今回の発表では前回とは違った視点からのご質問やご意見をいただき、見出している現象の生理的意義について正面から取り組む段階であることを改めて実感しました。また、課題であった英語での質疑応答にも拙いながらも対応できたのではないかと思います。

最後になりましたが、本賞に推薦していただいた山崎晶先生をはじめ、日頃よりご指導いただいております研究室の皆様にも心より感謝申し上げます。今回の受賞を励みとし、より一層研究に邁進していきたいと思っております。